

新潟県企業短期経済観測調査の概要

(業況感)

- **業況判断D.I.**は、「悪い」超幅が縮小した。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が縮小した。

▽主な業種別の変化要因

		業種	主な要因
製造業	改善	はん用・生産用・業務用機械、 輸送用機械、食料品、 窯業・土石製品、繊維	自動車関連需要の持ち直し 外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直し
	悪化	鉄鋼	原材料価格上昇による利幅縮小
非製造業	改善	宿泊・飲食サービス、不動産、 対個人サービス、小売、運輸・郵便、 電気・ガス、鉱業・採石業・砂利採取業	外出自粛の緩和に伴う需要の持ち直し 自社製品・サービスへの引き合いの強まり
	悪化	卸売、建設	自社製品の販売不振 公共工事受注の減少

- **先行き**については、「悪い」超幅が拡大する見通しである。
—— 製造業、非製造業ともに「悪い」超幅が拡大する見通し。

(事業計画)

- 2020年度の**売上高**および**経常利益**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、売上高、経常利益ともに上方修正となった。
—— 経常利益は、製造業で、自動車関連の低迷や設備投資需要の鈍化などから、減益計画となっている。非製造業は、新型肺炎に伴う客数減少の影響などから、減益計画となっている。
—— 経常利益を前回調査対比で見ると、製造業では、自動車関連の低迷やコストアップによる利幅縮小などから、下方修正となった。非製造業では、外出の減少に伴う需要の拡大や資源価格の下落による利益率改善などから、上方修正となった。

- 2020年度の**設備投資**は、前年を下回る計画である。前回調査対比では、下方修正となった。
 - 製造業は、前年の大型投資の反動や投資計画の縮小・先送りなどから、前年を下回る計画である。非製造業は、新規出店や能増投資、老朽化設備の更新投資などから、前年を上回る計画である。
 - 前回調査対比で見ると、製造業、非製造業ともに、投資計画の縮小や先送り、後ずれなどから、下方修正となった。

(その他の判断項目)

- **販売価格判断D. I.**は、「下落」超幅が縮小した。**仕入価格判断D. I.**は、「上昇」超幅が小幅縮小した。
- **雇用人員判断D. I.**は、「不足」超幅が拡大した。
- **資金繰り判断D. I.**は、前回調査並みの「楽である」超となった。**貸出態度判断D. I.**は、「緩い」超幅が小幅縮小した。**借入金利水準判断D. I.**は、前回調査並みの「低下」超となった。

以 上